

わいわいひろば おすすめ絵本のたより

第1号 2023年4月26日
大学部

作新学院大学女子短期



「まよなかのトイレ」 まるやまあやこ作 福音館書店

私のおすすめする本はまるやまあやこさんの「まよなかのトイレ」という絵本です。この本はひろちゃんという一人の女の子が真夜中に一人でトイレに行くことに挑戦し、様々な動物たちに助けをもらうという絵本です。

私はこの本を幼稚園実習で5歳児の子どもたちに読み聞かせを行いました。最初は元気いっぱいの子どもの絵本を読む雰囲気作りがとても大変でしたが、手遊びをして絵本への導入をしました。読み始めると、子どもたちは出てくる動物を指さして「ネコちゃん!」「うさぎさん!」と楽しんでいる様子を見ることができました。また、絵本を読み終わり内容を振り返ると、動物たちが出てくる順番やどこから出てくるのかを覚え共有する姿がみられました。

この本は、一人で排泄ができるようになった子どもに読み聞かせをすることでさらに意欲が高まるため4歳頃の子どもの読み聞かせを試みてください。

2年 松枝紅愛

「へんなかお」 大森裕子作 白泉社

私のおすすめする絵本は、大森裕子さんの「へんなかお」です。いろいろな動物が登場し、動物たちが次々に「へんなかお」を見せてくれます。

この絵本は、もうすぐ6歳になる娘が0歳のときから読み聞かせ、今でもお気に入りの絵本で、長い期間楽しむことができます。読み聞かせをしていると、小学生の娘もやって来て、一緒に動物たちの「へんなかお」を真似したり、「へんなかお」対決をして、みんなで大笑いしています。言葉の量が少ない絵本なので、慌ただしい家事の合間でも読み聞かせができ、子どもとたっぷりコミュニケーションを取ることもできます。

絵本の最後のページにはミラーシートのしかけがついていて、読んでいるお父さん、お母さんも負けてはいられません、とびっきりの「へんなかお」で、お子さまとの時間を楽しんでください。

2年 前本悦子

「きんぎょがにげた」 五味太郎作 福音館書店

私は「きんぎょがにげた」という絵本を紹介したいです。五味太郎さんの作品で、ページをめくるたびに逃げてしまうきんぎょを探すという子ども達が大好きな探し遊びができる絵本です。

この絵本は私が実習をさせていただいた園にも置いてあり、子ども達にとっても人気がありました。1人の子どもに読み聞かせをしていると、次第に沢山の子ども達が集まってきて皆で一緒にきんぎょを探していました。読み聞かせが終わっても「もう1回読んで!」という声が沢山あがっており、子ども達が何度でも楽しめる絵本であることを実感しました。

子ども達はきんぎょを見つけられた喜びを指でさしながら保護者や保育者に伝えてくれるので、私達も嬉しい気持ちになりますよね。

カラフルな色使いやまんまるのきんぎょがとても可愛らしく、場面の移り変わりも分かりやすいため、小さな子どもでも夢中になってしまうこと間違いなしです。

2年 松本風羽

作新学院女子短期大学部で保育を学ぶ短大生達がおすすめの絵本を紹介します。作新学院大学図書館で一般の方も絵本や本を借りることができます。わいわいひろば開催日(裏面をご覧ください)には、図書館内にてキッズスペースを設けます。【※6月24日(土)は閉館】お子様とゆっくり絵本選びを楽しんでみてはいかがでしょうか。

